

2026年3月期第1四半期 決算説明資料

2025年7月29日
FDK株式会社

進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために

© 2025 FDK CORPORATION

2025年度第1四半期決算概要について、ご説明いたします。

1. 2025年度第1四半期の業績	
連結決算のポイント	3
2025年度第1四半期連結決算概要	4
営業利益変動要因(前年同期比)	5
連結貸借対照表	6
セグメント別情報	7
2. 2025年度(通期)見通し	9
3. 参考資料	10
4. トピックス	13

今回ご説明させていただく内容です。

■ 連結全体

売上高：145.2億円(前年同期比：△12.6億円、△8.0%)

電池事業のリチウム電池で増収も、ニッケル水素電池、設備関連ビジネスおよび電子事業で減収

営業利益：2.1億円(前年同期比：△0.0億円、△2.2%)

電池事業のリチウム電池の売上増、原材料価格の変動により増益も、電子事業が減益

経常利益：0.6億円(前年同期比：△0.6億円、△52.7%)

為替差損の計上により減益

四半期純利益：△1.0億円(前年同期比：△1.1億円)

減損損失の計上により、前年同期から大きく悪化し、損失計上

■ セグメント別

電池事業：売上高 前年同期比：△9.1億円、△7.5%

・ニッケル水素電池は海外の市販・工業用途向けが減少

・設備関連ビジネスは自動車関連設備が減少

・リチウム乾電池は国内外のセキュリティ・スマートメータ・住宅用警報器用途向けが増加

電子事業：売上高 前年同期比：△3.5億円、△9.6%

各種モジュールはモビリティ用途向けで増加も、タブレット用途向けでの減少に加え液晶ディスプレイ用途の選択と集中による一部機種生産終了で減少

はじめに、決算のポイントです。

■ まず、連結全体についてです。

売上高は、電池事業のリチウム電池で増収も、ニッケル水素電池、設備関連ビジネス、および電子事業で減収となりました。

営業利益は、電池事業のリチウム電池の売上増、原材料価格の変動や技術VEによるコストダウンにより増益も電子事業が減益により前年同期並みとなりました。

経常利益は、為替差損の計上により減益となりました。

四半期純利益は、減損損失の計上により赤字となりました。

■ 次に、セグメント別についてです。

電池事業は、リチウム電池で増収となったものの、ニッケル水素電池が海外の市販・工業用途向けで減収、設備関連ビジネスが自動車関連設備で減収となり、セグメント全体で前年同期比7.5%減となりました。

電子事業は、各種モジュールはモビリティ用途向けで増加も、タブレット用途向けでの減少に加え液晶ディスプレイ用途の選択と集中による一部機種生産終了で減少し、セグメント全体で前年同期比9.6%減となりました。

2025年度第1四半期連結決算概要

FDK

(単位：億円)

	2024年度1Q	2025年度1Q	前年同期比	増減率
売上高	157.9	145.2	△12.6	△8.0%
営業利益 (営業利益率)	2.1 (1.4%)	2.1 (1.5%)	△0.0 (+0.1pt)	△2.2%
経常利益 (経常利益率)	1.3 (0.8%)	0.6 (0.4%)	△0.6 (+0.4pt)	△52.7%
四半期純利益(△損失)※ (純利益率)	0.0 (0.1%)	△1.0 (△0.7%)	△1.1 (△0.8pt)	－%

※親会社株主に帰属する四半期純利益

1株当たり四半期純利益	0.23円	△3.13円	△3.36円
-------------	-------	--------	--------

為替レート (円/1USD)	155.02円	145.34円	△9.68円
(円/1EUR)	167.03円	162.60円	△4.43円

ROIC※	0.6%	0.6%	－pt
-------	------	------	-----

※ROIC = 税引後営業利益/(自己資本 + 有利子負債)

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

連結決算概要です。

■ 電池事業の売上高は、リチウム電池は国内外のセキュリティ・スマートメータ・住宅用警報器用途向けが増加したものの、ニッケル水素電池が海外の市販・工業用途向けでの減少、設備関連ビジネスが自動車関連設備が減少したことにより、事業全体として減収となりました。電子事業の売上高は、各種モジュールがモビリティ用途向けで増加したものの、タブレット用途向けで減少に加え液晶ディスプレイ用途の選択と集中による一部機種生産終了で減少したことにより、事業全体として減収となりました。

この結果、売上高は前年同期と比べ12.6億円減少の145.2億円となりました。

■ 営業利益は、電池事業は円高による為替影響があったもののリチウム電池の売上増、原材料価格の変動や技術VEによるコストダウンにより、増益となりました。電子事業は売上減により、減益となりました。この結果、営業利益は前年同期並みの2.1億となりました。

■ 経常利益は、前年同期と比べ0.6億円減少の0.6億円となりました。

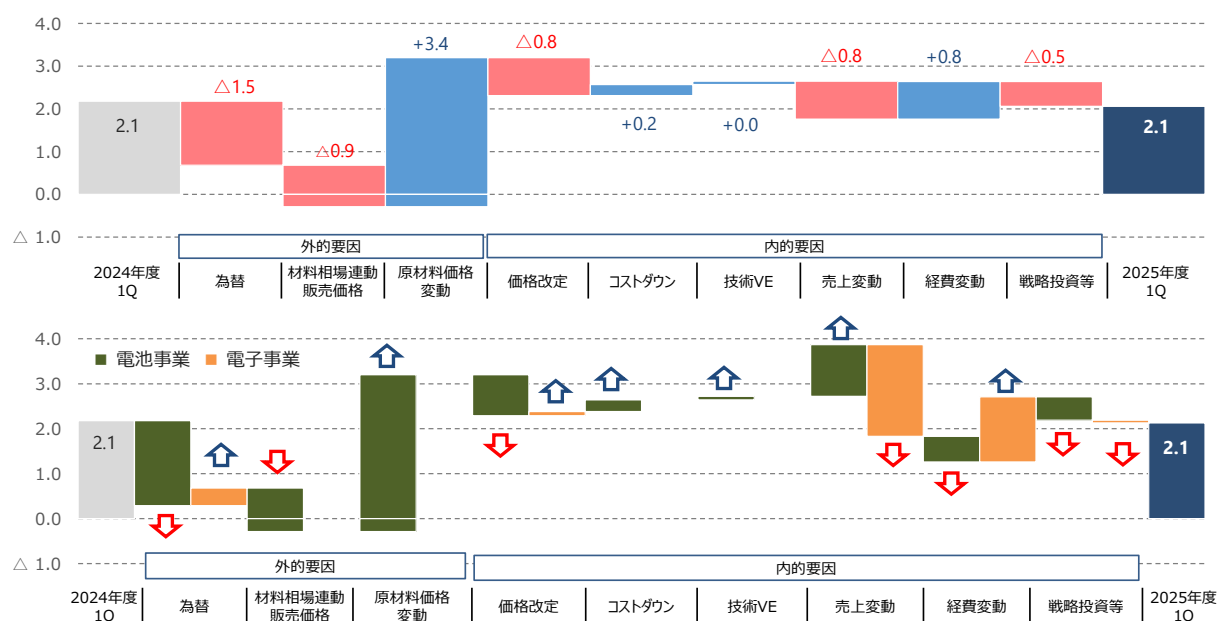
■ 四半期純利益は、減損損失の計上により赤字となりました。

■ ROICは、前年同期並みの0.6%となりました。

営業利益変動要因(前年同期比)

FDK

(単位: 億円)	2024年度1Q	2025年度1Q	前年同期比	増減率
営業利益(営業利益率)	2.1(1.4%)	2.1(1.5%)	△0.0(+0.1pt)	2.2%



© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

営業利益の変動要因です。

■全体の営業利益は、原材料価格変動による増益影響がありましたが、価格改定と円高による為替影響による減益要因がありました。

電池事業のリチウム電池の売上増による増益により、前年同期並みの2.1億円となりました。

■それぞれの要因が各事業に与えた影響としましては、電池事業では価格改定と円高による為替影響が減益要因で原材料価格変動は好転要因となりました。電子事業では経費削減による好転要因がありましたが、売上変動が大きな減益要因となりました。

連結貸借対照表

FDK

(単位：億円)

科 目	2024年度	2025年度 1Q	増減	科 目	2024年度	2025年度 1Q	増減
流動資産	317.3	311.7	△5.5	流動負債	288.7	285.2	△3.5
(受取手形及び売掛金)	(135.3)	(141.1)	+5.7	(支払手形及び買掛金)	(78.1)	(73.8)	△4.2
(商品及び製品)	(26.3)	(26.4)	+0.0	(短期借入金)	(145.5)	(147.0)	+1.5
(仕掛品)	(30.6)	(32.7)	+2.1	(その他流動負債)	(22.7)	(19.8)	△2.8
(原材料及び貯蔵品)	(48.5)	(48.7)	+0.2				
(その他流動資産)	(20.1)	(9.6)	△10.4				
固定資産	146.0	147.7	+1.7	固定負債	10.4	9.2	△1.2
(有形固定資産)	(138.8)	(140.1)	+1.3	(繰延税金負債)	(3.8)	(3.1)	△0.6
				(退職給付に係る負債)	(0.4)	(-)	△0.4
				負債合計	299.2	294.4	△4.8
				株主資本	134.2	133.1	△1.0
				(利益剰余金)	(△444.5)	(△445.6)	△1.0
				その他の包括利益累計額	28.7	30.7	+2.0
				(為替換算調整勘定)	(24.8)	(26.7)	+1.8
				(退職給付に係る調整累計額)	(3.5)	(3.6)	+0.0
				純資産合計	164.1	165.0	+0.9
資産合計	463.4	459.5	△3.8	負債純資産合計	463.4	459.5	△3.8
自己資本比率	35.2%	35.7%	+0.5pt	有利子負債残高	147.0	148.4	+1.3

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

連結貸借対照表です。

■流動資産は、前年度と比べ5.5億円減少の311.7億円となりました。流動資産減少の主な要因は、受取手形及び売掛金、仕掛品や原材料および貯蔵品などの棚卸資産が増加した一方、未収消費税などのその他流動資産が減少したことによるものです。

■固定資産は、前年度と比べ1.7億円増加の147.7億円となりました。固定資産増加の主な要因は、電池事業への設備投資により有形固定資産が1.3億円増加したことによるものです。

■流動負債は、前年度と比べ3.5億円減少の285.2億円となりました。流動負債減少の主な要因は、未払法人税等や未払賞与などのその他流動負債が減少したことによるものです。

■固定負債は、前年度と比べ1.2億円減少の9.2億円となりました。固定負債減少の主な要因は、繰延税金負債や退職給付に係る負債が減少したことによるものです。

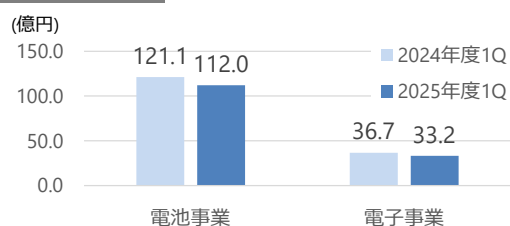
■純資産合計は、前年度と比べ0.9億円増加の165.0億円となりました。純資産増加の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が1.0億円減少した一方、為替換算調整勘定が1.8億円増加したことによるものです。なお、2025年6月25日開催の第96回定時株主総会において「資本金、資本準備金および利益準備金の額の減少ならびに剰余金の処分」が承認可決されました。詳細は決算短信P9の(追加情報)をご覧ください。

■有利子負債残高は、主に借入金の増加により前年度と比べ1.3億増加の148.4億円となりました。

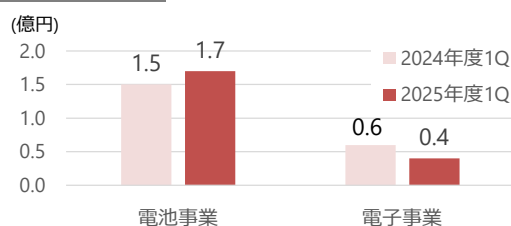
セグメント別情報

FDK

売上高



営業利益



(単位：億円)

		2024年度1Q	2025年度1Q	前年同期比	増減率
電池事業	売上高	121.1	112.0	△9.1	△7.5%
	セグメント利益 (率)	1.5 (1.3%)	1.7 (1.5%)	+0.1 (+0.2pt)	12.4%
電子事業	売上高	36.7	33.2	△3.5	△9.6%
	セグメント利益 (率)	0.6 (1.8%)	0.4 (1.3%)	△0.2 (△0.5pt)	△35.2%
合計	売上高	157.9	145.2	△12.6	△8.0%
	営業利益 (率)	2.1 (1.4%)	2.1 (1.5%)	△0.0 (+0.1pt)	△2.2%

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

セグメント別の情報です。

■ 電池事業の売上高は、リチウム電池で国内外のセキュリティ・スマートメータ・住宅警報器で増加しましたが、ニッケル水素電池が海外の市販・工業用途向けで減少、設備関連ビジネスが自動車関連設備で減少したことなどにより、前年同期と比べ9.1億円減少の112.0億円、セグメント利益は円高による為替影響があったものの、売上増、原材料価格の変動や技術VEによるコストダウンにより、前年同期と比べ0.1億円増加の1.7億円となりました。

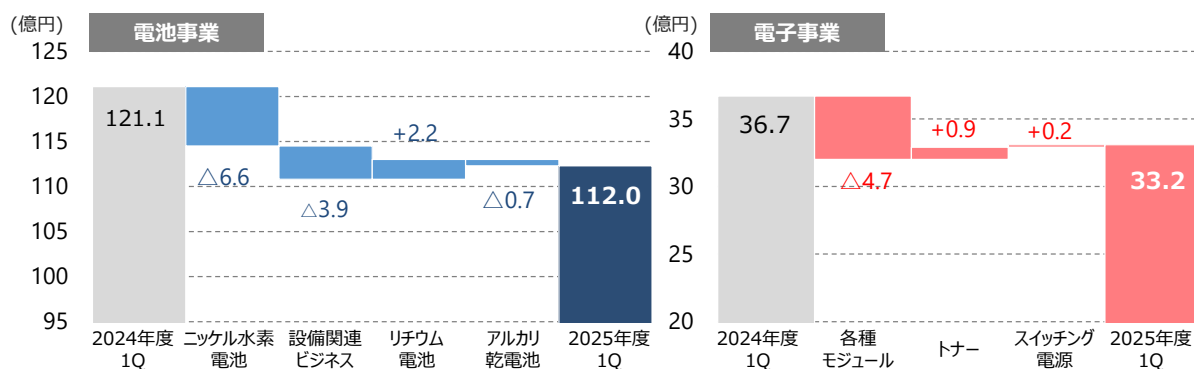
■ 電子事業の売上高は、各種モジュールのモビリティ用途向けで増加しましたが、タブレット用途向けで減少に加え液晶モジュールの選択と集中による一部機種生産終了による売上減により、前年同期と比べ3.5億円減少の33.2億円、セグメント利益は売上減により、前年同期と比べ0.2億円減少の0.4億円となりました。

セグメント別情報(売上概況)

FDK

(単位：億円)

		2024年度1Q	2025年度1Q	前年同期比	増減率
電池事業	売上高	121.1	112.0	△9.1	△7.5%
	セグメント利益(率)	1.5(1.3%)	1.7(1.5%)	+0.1(+0.2pt)	12.4%
電子事業	売上高	36.7	33.2	△3.5	△9.6%
	セグメント利益(率)	0.6(1.8%)	0.4(1.3%)	△0.2(△0.5pt)	△35.2%
合計	売上高	157.9	145.2	△12.6	△8.0%
	営業利益(率)	2.1(1.4%)	2.1(1.5%)	△0.0(+0.1pt)	△2.2%



© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

セグメント別の売上概況です。

- ニッケル水素電池は、海外の市販・工業用途向けで減少したことにより、前年同期を下回りました。
- 設備関連ビジネスは、自動車関連設備が減少したことにより、前年同期を下回りました。
- リチウム電池は、国内外のセキュリティ・スマートメータ・住宅用警報器が増加したことにより前年同期を上回りました。

続いて、電子事業については、

- 各種モジュールは、モビリティ用途向けは増加しましたが、タブレット用途向けが減少に加え液晶モジュールの選択と集中で一部機種生産終了により、前年同期を下回りました。

2025年度(通期)見通し

FDK

(単位：億円)

	2024年度 (実績)	2025年度 (予想)	前年度比	
				増減率
売上高	631.7	600.0	△31.7	△5.0%
営業利益 (営業利益率)	13.9 (2.2%)	14.0 (2.3%)	+0.0 (+0.1pt)	+0.4%
経常利益 (経常利益率)	12.6 (2.0%)	13.0 (2.2%)	+0.3 (+0.2pt)	+3.1%
当期純利益※ (当期純利益率)	5.3 (0.8%)	6.0 (1.0%)	+0.6 (+0.2pt)	+11.9%

※親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり当期純利益	15.55円	17.39円	+1.84円
------------	--------	--------	--------

為替レート (円/1USD) (円/1EUR)	152.75円	142.50円	△10.25円
	163.76円	152.50円	△11.26円

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

2025年度の見通しです。

- 売上高は、600億円で31.7億円の減収。
- 営業利益は、14億円、経常利益は13億円、純利益は6億円の見通しです。
- 為替レートは、1USDドル＝142.50円、1ユーロ＝152.50円を想定しております。

次期は為替変動や電子事業の各種モジュールでの選択と集中による一部機種生産終了などで減収となりますが、電池事業で付加価値の高い機種での売上増により増益を見込んでおります。

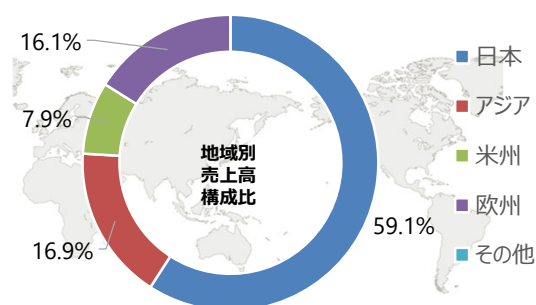
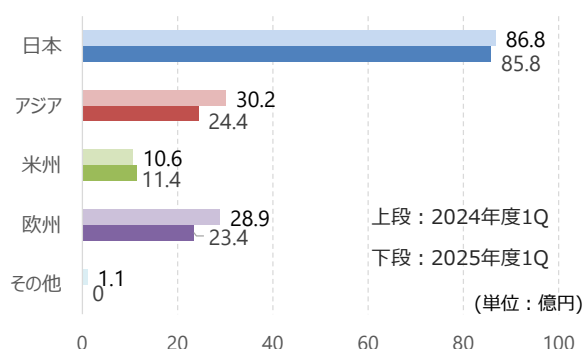
なお、米国の相互関税による影響ならびに中国のレアアース輸出規制による影響等を精査中のため、上記数値に当該影響を織り込んでおりません。当該影響の詳細が判明し次第、速やかにお知らせいたします。

参考資料

地域別売上高

FDK

(単位：億円)	2024年度 1Q		2025年度 1Q		前年同期比	
						増減率
日本	86.8	55.0%	85.8	59.1%	△0.9	△1.1%
アジア	30.2	19.2%	24.4	16.9%	△5.7	△19.1%
米州	10.6	6.7%	11.4	7.9%	+0.7	+7.2%
欧州	28.9	18.4%	23.4	16.1%	△5.5	△19.1%
その他	1.1	0.7%	0.0	0.0%	△1.1	△96.1%
合計	157.9	100%	145.2	100%	△12.6	△8.0%
海外売上高比率	45.0%		40.9%			



※「地域別売上高」は顧客の所在地別売上を示しています

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

連結キャッシュ・フロー計算書

FDK

(単位：億円)	2024年度 1Q	2025年度 1Q	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	8.3	2.5	△5.8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9.7	△6.2	+3.5
フリー・キャッシュ・フロー	△1.3	△3.7	△2.3
財務活動によるキャッシュ・フロー	2.1	1.4	△0.7
現金及び現金同等物の期末残高	39.8	44.4	+4.5

設備投資	6.2	7.9	+1.7
減価償却費	5.7	5.6	△0.1

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

1) 高容量タイプの高出力円筒形二酸化マンガンリチウム一次電池「CR17500EX」を開発、量産体制を構築

当社は同形状の当社従来モデル CR17500EPと比較して、17%容量を向上させた「CR17500EX」を新たに開発し、2025年度下期より量産開始予定
本製品は欧州のRoHS指令や電池規則(2023/1542)などの各種法令に準拠し、米国の安全規格であるUL規格(File No. MH13421)も認定

**2) 当社のニッケル亜鉛電池がエクシオグループのグリッドフリーソーラーカーポートの実証実験に採用**

エクシオグループ株式会社が実証実験を行なうグリッドフリーソーラーカーポートのシステムを制御する補器のバックアップ電源に当社のニッケル亜鉛電池が採用
当社のニッケル亜鉛電池は、ニッケル水素電池の負極材料(水素吸蔵合金)を亜鉛化合物に置き換えた電池で鉛蓄電池と同じ充電方式で使いやすく、鉛蓄電池に比べて軽量で、環境負荷が少ないという特長を持つ

**3) FDKは2025年もミニ四駆ジャパンカップを応援します！**

当社は模型メーカーの株式会社タミヤが主催するミニ四駆^(*) 日本一決定戦『Powered by FDK ミニ四駆ジャパンカップ2025 Drive On ヨコハマタイヤ』を大会スポンサーとしてサポートします。

*1：ミニ四駆は株式会社タミヤの登録商標です。



© 2025 FDK CORPORATION

最後に、トピックスです。

1) 当社は、同形状の当社従来モデル CR17500EPと比較して、17%容量を向上させた「CR17500EX」を新たに開発し、2025年度下期より量産開始を予定しております。

2) エクシオグループ株式会社が実証実験を行なうグリッドフリーソーラーカーポートのシステムを制御する補器のバックアップ電源に、当社のニッケル亜鉛電池が採用されました。

3) 当社は、模型メーカーの株式会社タミヤが主催するミニ四駆日本一決定戦『Powered by FDK ミニ四駆ジャパンカップ2025 Drive On ヨコハマタイヤ』を大会スポンサーとしてサポートします

。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、本資料では、業績の概略として多くの数値は億円単位で表示しております。決算短信等で百万円単位で開示しております数値を切り捨て表示しているため、本資料に表示されてる合計額、差額などが不正確に見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信または四半期報告書を参照していただきますようお願いいたします。

FDK

確かな技術 育てる未来